

群馬県で豚熱(CSF)発生(国内59例目)

令和2年9月26日、群馬県高崎市の養豚場(国内59例目1戸1農場5390頭飼養)で豚熱(CSF)の患畜が確認されました。

今回感染が判明した豚は、生後70日齢前後の豚で豚熱ワクチン未接種でした。

豚熱ワクチンを接種した豚群においても、全ての豚が十分な抗体を得るとは限りません。

また、豚熱ワクチンを接種した母豚から生まれた子豚は移行抗体を保有していますが、日数とともに抗体量は減少します。子豚のワクチン接種は50日齢を目安に接種しましょう(裏面参照)。



飼養衛生管理基準の徹底をお願いします

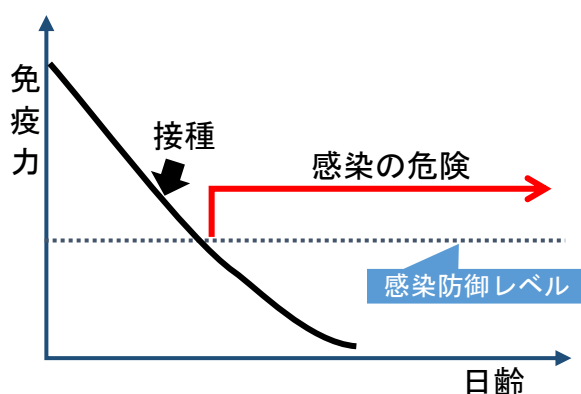
- 畜舎ごとに専用の作業着、長靴を使用してください。
- 衛生管理区域への野生動物侵入防止のために防護措置(防鳥ネット等)を実施してください。
- 衛生管理区域へ搬入又は搬出する物を消毒してください。
- 肉を扱う事業所等から排出される食品残さを飼料として利用する場合、攪拌しながら90℃60分以上の加熱が必要となります。

豚に異状がありましたら、すぐに当所へご連絡下さい!

豚熱(CSF)ワクチン初回接種は生後50日齢を目安に 50～60日齢で接種しましょう

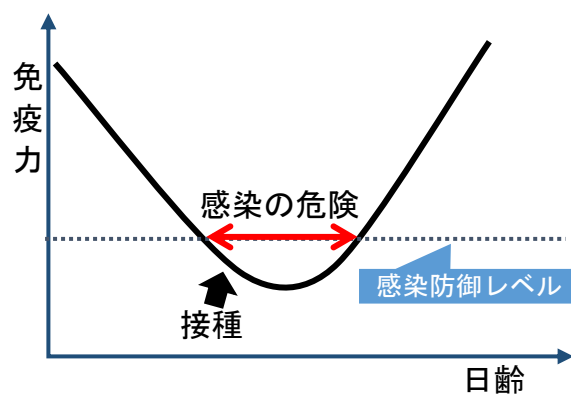
豚熱 (CSF) ワクチンの免疫付与状況検査を実施したところ、40日齢未満でワクチン接種した豚は免疫付与率が低い傾向にありました。

接種が早すぎる場合



豚は初乳を飲み移行抗体を獲得します。移行抗体は時間が経つと徐々に減少します。移行抗体の免疫力が高い時にワクチン接種しても免疫は付与されません。

適期に接種した場合



移行抗体の影響がなくなってから接種すれば、免疫は付与されます。ただし、ワクチン接種時期が遅すぎると「感染の危険」が長くなり、リスクが高まります。

県内(春日部市)で山羊の盗難事件が発生しました。
豚熱ウイルス侵入防止のため、盗難防止対策や、
敷地内の石灰散布などの対応を行いましょう。

埼玉県中央家畜保健衛生所 (さいたま市北区别所町 107-1)

TEL: 048-663-3071

(24時間、土日祝日も受付)